

9月15日に素盞雄神社で1年に2回行われる祭の一つの飛鳥祭りが行われました。1回目は6月3〜5日に行われた天王祭りです。

今年の飛鳥祭はお神輿は出さず、奥の院「神殿」で「お白石祭り」が行われました。御祭神「事代主命・素盞雄命」が祀られている神殿の回りに真白い10cm四方の小石を敷き詰めて行く行事です。氏子の皆様の無病息災を心から祈りながら神事を進め終わらせました。前回は7年前に行われたと記憶しております。

事代主命は飛鳥大神と呼ばれ、素盞雄命の子どもの大孫です。国ゆずりの神といい、父である

大國主命に国土献上を勧め、自らは青柴垣(アオフシガキ)を作り海の中に隠退して、のちに海の豊漁や航海安全の守り神となりました。また、七福神の一つ恵美須さまとなり商売繁盛の神として信仰されています。九州南部地方には海中から石を拾い集めて祝う儀式があります。今度機会があれば儀式の意義を聞いてみたいと思っています。

また、15日には宮元七ヶ町の年番引き継ぎ式が行われました。新しい年番である若宮が二丁目から引き継ぎ、

一年間神社の行事に携わって行きます。もうすぐ、七五三がやって来て、それが終わると正月と慌ただしく一年が終わり始まりです。

人生は短い目標を持ち毎日毎日明るく努力していけば幸せな時が得られます。目標を持ちましょう。

私は戦争で小学校中学校とろくに勉強もせず、今一生懸命に漢字の勉強をしています。少しずつ頑張ります。

コツ通り杉山六郎



吉田喜一教授の ものづくり工学便り



高専秋の行事

都立産技高専名誉教授 吉田喜一

9月末から後期が始まります。いろいろな行事がたて込みます。9月23日(金)は塾向けの高専説明会!です。10月2日(日)はロボコンの関東信越地区大会(ひたちなか市)です。暮れに放映されます。今年も学生諸君は健闘してくれるでしょう。この日は本校で学校説明会も行われます。関心のある方はぜひおいでください。

10月9日(日)と10日(体育の日)は本校でプロコン(プログラミングコンテスト)の全国大会です。10月22日(土)と23日(日)は高専祭です。いろいろなイベントがあります。学校説明会もあります。これらの機会を利用して高専の様子をご覧ください。

私自身は且(2年生実習)、火(1年生実習)、木(専攻科・技術史の講義)、金(5年生特別講義)、土(年生機械力学の講義)と現役の時より多い授業を持っています。なお、木の午前は現代技術論という講義を千葉商大(国府台)でやってから高専に行きます。体力を温存しながら秋・冬を乗り切りたいと思います。

ありがとう「こち亀」〜扉絵の魅力〜



消費生活 アドバイザー 佐藤祐一郎

こんにちは。メガネのサトウ4代目です。先日、連載開始から4年にも及ぶ、秋本 治の漫画「こち亀」葛飾区亀有公園前派出所(通称「こち亀」)が、単行本200巻の節目をもって終了しました。NHKニュースや新聞各紙でも報道されるなど、異例の扱いとなったことは記憶に新しいところです。

私も小学生の頃から親しんだ作品であり、今回の発表には感慨を覚えました。ギャグ漫画としての面白さもさることながら、私が入っている本作の特徴として、しばしば作品中に舞台となつている実在の下町風景が登場したことが挙げられます。特に扉絵にその傾向があり、南千住の街角や、通った学校が近くにある西日暮里の地藏坂、昔から何度も渡った隅田川の橋など、見るたびに興味深く楽しませてくれたものです。

そこにはまた、葛飾育ちである作者の、いわば「下町愛」のようなものが感じられます。当初は、下町を描くことを自覚して始めたわけではないようですが、描いているうちに、下町の懐かしい風景がどんどん東京から消えていくことに気付き、描いて残しておきたい気持ちも生まれたそうです。作者の『両さんと歩く下町』、『こち亀』の扉絵で綴る東京情景(集英社新書、2004年、本体667円+税)という新書本には、たかさんの扉絵、周辺の解説や、その風景にまつわる作者の思い出などが綴られていますので、漫画は読まないという方にも是非手に取って頂きたいお薦めの一冊です。もちろん、南千住も取り上げられています。



■メガネのサトウ■  
南千住5丁目43の13【コツ通り】  
TEL 03(3806)4930

★休業日のご案内【当店は不定休です】★

9月: 25(日) 10月: 10(祝)、20(木)、25(火)

★営業時間のご案内★

平日(月〜金): AM 9時〜PM 6時30分

※9月28日(水)はAM 11時からの営業、10月7日(金)はPM 5時までの営業となります。

土・日・祝: AM 10時〜PM 5時